

12、和音をひく。(その-1)

- 譜例-31の低音伴奏付き「荒城の月」はひき続けていますか？
同じ曲を、長い間引き続けることはなかなかできることではありませんが、どんな曲でも「すらすらひける状態」を継続することは、技術維持にとても有効です。

これから「和音」の練習に入りますが、めんどくさ〜い練習に入る前に、「荒城の月」で簡単に和音を入れることもやっておきましょう。

譜例-37

- 譜例-37は、譜例-31の3〜4小節目です。
4小節目に和音伴奏を付けてみましょう。

譜例-38-a

譜例-38-b

譜例-38-c

- まず右手だけで譜例-38-aを、mとiが同時に弦をはじくことができるようになるまでくり返し練習して下さい。
次に譜例-38-bの「ソ#（3弦の1フレット）」を押さえて同様にひいて下さい。その譜例-38-bの1拍で6弦をひくときに「薬指」で1弦を同時にひいて下さい。完成です。

* #やb（フラット）は「臨時記号」といって、記号から右の同じ音は全部変化します。
#は1フレット（半音）高く、bは1フレット（半音）低くする記号です。

譜例-39-a

譜例-39-b

- 譜例-39-a,bを、譜例-31の低音伴奏付きに任意に応用してみてください。
ちょっと雰囲気が変わったと感じてもらえる程度で充分ですから、ひき続けて下さい。

13、和音をひく。(その-2)

- ここでも譜例-38-aのように、右手だけの練習を先にしておきましょう。
そろそろ練習の要領をわかっていただいたと思うので、これまでの注意を参考に練習して下さい。

譜例-40-a

譜例-40-b